

東大阪支援学校「学校教育自己診断アンケート」教職員用							
実施期間 令和5年12月1日（金）～11日（月）							
提出率 【全体】 100% 【小】 100% 【中】 100% 【普】 100% 【生】 100%							
AとBの合算							
	診断内容	A	B	C	D	E	未回答
		よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	わからない	
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	37%	60%	2%	1%	0%	0%
		97%					
2	児童生徒に使用する「言葉・行動」と同僚間で使用する「言葉・行動」の質を高め、人権を尊重した教育活動を行っている。	23%	70%	7%	1%	0%	0%
		92%					
	R4、3 児童生徒の人権を尊重して教育活動を行っている。	27%（23%）	64%（69%）	5%（6%）	0%（1%）	0%（1%）	0%（0%）
		94%（92%）					
3	児童生徒の生活指導では、カウンセリングマインドを取り入れた丁寧な指導を行っている。	27%	60%	4%	2%	7%	0%
		88%					
	R4、3 学校では、カウンセリングマインドを取り入れた児童生徒の指導を行っている。	20%（9%）	57%（71%）	14%（12%）	1%（1%）	7%（7%）	0%（0%）
		77%（80%）					
4	いじめ（疑いを含む）等が起こった場合には、迅速に対応できる組織（生徒指導対策委員会）があり、予防（仲間作り等）にも努めている。	30%	50%	5%	0%	13%	2%
		80%					
	R4、3 学校は、いじめのない集団づくりに取り組んでいる。	35%（31%）	54%（61%）	2%（5%）	0%（1%）	8%（2%）	0%（0%）
		89%（92%）					
5	相談体制として、児童・生徒・保護者は、学級担任以外の教職員（学年主任、部主事、首席など）とも相談することができる。	29%	55%	11%	3%	2%	0%
		84%					
6	ヒヤリハット・インシデント・アクシデント報告が共有され、再発防止に活かされている。	38%	61%	1%	0%	0%	0%
		99%					
7	教員・養護教諭・看護師・栄養教諭等が協働し、児童生徒のケガや体調の変化を共有しながら、健康を守る連携ができています。	42%	56%	3%	0%	0%	0%
		97%					
8	給食の内容は、児童生徒の実態に合わせて提供できており、食育も必要に応じて取り組んでいる。	35%	62%	1%	0%	2%	0%
		97%					
	R4、3 給食の内容は、児童生徒の実態に対応できている。	35%（29%）	61%（68%）	2%（2%）	0%（0%）	1%（1%）	0%（0%）
		97%（97%）					
9	防犯・防災について備え、訓練や準備を進めている。（警察や消防署と連携した訓練の実施、災害時引渡模擬回答訓練でのマチコミメールの活用等）	36%	58%	5%	0%	1%	1%
		93%					
10	学習指導要領を踏まえた「教育課程」の編成を各学部で検討し、「年間計画（シラバス）」の作成に取り組んでいる。	30%	61%	4%	0%	5%	0%
		92%					
11	「他学部授業見学週間」等を実施し、他の教員と意見交換することで、授業改善・授業力向上に活かすことができている。	28%	58%	8%	1%	4%	0%
		87%					
12	児童生徒の主体的な学びを大切にし、一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業を行っている。	31%	63%	4%	0%	2%	0%
		94%					
13	「ICT機器」等を積極的に活用し、児童生徒のニーズに応じた授業を行っている。	26%	55%	8%	2%	6%	2%
		82%					
	R4 ICT機器（大型モニター、タブレット端末、パソコン等）が授業などで活用されている。	19%	69%	7%	0%	3%	0%
		88%					

14	学校行事が、児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	31%	58%	6%	1%	3%	2%
		89%					
	R4、3 学校行事について教職員で話し合い、工夫や改善、精選を行っている。	24%（24%）	63%（59%）	8%（12%）	1%（0%）	2%（5%）	0%（0%）
15	児童生徒一人ひとりの適性に応じて、進路選択ができるように施設見学会や進路懇談会等で情報提供を行い、相談できる機会を設定している。 またキャリア教育の視点（挨拶・友だちと協力する・係活動で役割を果たす・自己肯定感を高める等）も併せて、取り組んでいる。	29%	55%	7%	1%	7%	2%
		84%					
	R4、3 進路についての情報提供があり、相談する機会がある。	24%（12%）	64%（72%）	5%（12%）	0%（0%）	4%（4%）	0%（0%）
16	全校研修会を適宜実施し、教職員の専門性向上に努めている。	25%	62%	8%	1%	2%	2%
		87%					
	R4、3 教育活動に役立つ研修を計画的に行っている。	19%（16%）	64%（64%）	9%（13%）	2%（0%）	4%（7%）	0%（0%）
17	仕事が効率的に実施でき、引継もスムーズに行えるように、定期的な「整理整頓」や校務のスリム化を進めている（学部・分掌でのデータの整理・毎月の校内一斉清掃等）を行っている。	14%	53%	25%	2%	5%	2%
		67%					
18	「仕事の時間を区切る」「仕事のスリム化を行う」「仕事の仕方を変える」ために工夫・改善に取り組んでいる。（各分掌や各学部での工夫・19時機械警備・毎週水曜日の17時30分退勤・職員朝礼記録の整理・保護者配付文書の一部デジタル化等）	17%	55%	23%	0%	4%	2%
		72%					
19	「学校間交流」「居住地校交流」が計画的に実践され、相互理解につながっている。	20%	53%	7%	3%	16%	2%
		73%					
20	「外部人材活用」（PT・OT・ST・臨床心理士・読み聞かせボランティア・地域人材等）による取組を行い、地域に開かれた学校作りに取り組むことができている。	32%	53%	3%	1%	9%	2%
		85%					
21	校長は自らの教育理念や学校経営について考え方を明らかにしている。	39%	55%	1%	0%	3%	3%
		93%					
22	校長はリーダーシップを発揮している。	40%	50%	1%	0%	7%	3%
		90%					
23	学校運営に教職員の意見が反映されている。	6%	37%	21%	4%	29%	4%
		42%					
24	学校は、毎年、学校運営と教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に活かしている。	12%	58%	10%	1%	15%	3%
		71%					
	R4 教育活動に対する評価を行い、次年度の計画に生かしている。	35%（29%）	61%（68%）	4%（8%）	1%（0%）	6%（9%）	0%（0%）
25	学部・学年・分掌内での連携・情報伝達がスムーズに行われている。	13%	61%	12%	0%	10%	3%
		75%					
26	児童生徒への対応や仕事上の課題等について、気軽に相談し合えるような職場の雰囲気がある。	25%	58%	9%	0%	4%	3%
		84%					
27	「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」について、教職員の共通理解を図り、活用している。	19%	66%	7%	0%	6%	3%
		85%					
	R4、3 「個別の指導計画」に基づいて指導がされている。	20%（17%）	68%（74%）	4%（5%）	2%（0%）	4%（4%）	0%（0%）
28	児童生徒の個人情報を守られるように、組織としてのルール（持ち出し簿・ダブルチェック体制等）があり、遵守されている。	36%	57%	4%	0%	1%	3%
		92%					
	R4、3 児童生徒の個人情報は守られている。	28%（28%）	67%（68%）	2%（2%）	0%（1%）	2%（1%）	0%（0%）
		96%（96%）					

29	地域への相談支援体制ができており、支援教育のセンター的機能を発揮している。	23%	48%	4%	1%	21%	3%
		71%					
30	学校は、教育活動に必要な情報について、ホームページの学校ブログや配付物等を用いて、保護者や地域への情報発信に努めている。	23%	64%	2%	0%	8%	3%
		87%					
	R4、3 児童生徒の学校での様子（授業や行事など）を保護者によく知らせている。	40%（33%）	55%（63%）	2%（4%）	0%（0%）	2%（0%）	0%（0%）
		96%（96%）					
31	学校は、施設設備の点検・管理を定期的に行っている。	17%	66%	9%	0%	5%	3%
		83%					
	R4、3 施設設備について、点検管理を行い、適切な修理を行っている。	10%（9%）	60%（61%）	22%（24%）	1%（4%）	5%（2%）	0%（0%）
		70%（70%）					